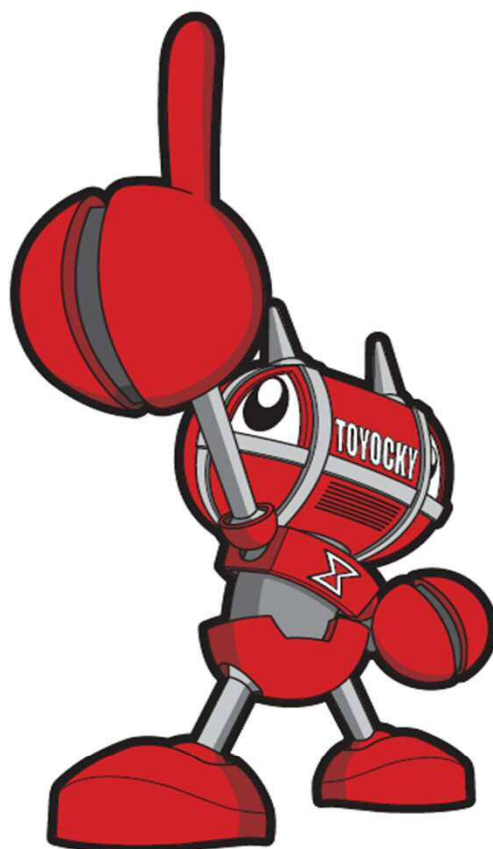


平成29年度 豊橋市予算の 見どころ



- 豊橋市 -

平成29年度豊橋市予算

「未来(あす)を創る 安心・元気・まちづくり予算」

一般会計予算は1,224億4千万円(1.4%減)
(平成28年度への前倒しを含む15か月予算では1,263億9千万円 1.8%増)

<目次>

《平成29年度一押し of 取組み》

☆ 豊かな子育て むすぶかけ橋 豊橋市の子育て支援の取組み	頁
・ 子育てにかかる経済的負担の軽減	2
・ 妊娠・出産・子育て総合相談、産前・産後サポート	3
・ こども若者総合相談支援センターの設置	4
☆ 未来に羽ばたく子ども・若者を応援するための取組み	
・ 学校外における児童・生徒支援(トヨッキースクール、地域未来塾ステップ) ..	5
・ 給付型奨学金制度の創設	6
・ 英会話のできる豊橋っ子の育成(英語で学ぶモデル事業)	7
・ プログラミング教育の推進	8
☆ 安心・安全の教育環境整備の取組み	
・ 高根小学校屋内運動場、校舎棟の整備	9
・ 小中学校施設の大規模改修(過去最大の事業規模)	10
☆ 女性の働き方改革への取組み	
・ 女性の働き方改革の推進	11

《重点化事項の主な事業》

夢を育み新しい未来(あす)をひらく「元気づくり」

○ 活きみなぎる産業創出プロジェクト	
・ オープンデータビジネス創出事業	14
・ 産地パワーアップ事業補助金	15
○ 未来に羽ばたく人づくりプロジェクト	
・ 陸上競技場の整備	16
・ 豊橋文化振興財団補助金	17
・ 中学校部活動の充実	18
○ 選ばれるまち豊橋プロジェクト	
・ 名豊道路道の駅整備事業	19
・ のんほいパーク魅力創造事業	20

暮らしを守り未来（あす）を支える「安心づくり」

○ しあわせファミリープロジェクト

- ・ 保育所・認定こども園の整備 21
- ・ 放課後児童対策事業 22

○ いきいき長寿プロジェクト

- ・ 精神障害者医療費助成事業 23
- ・ 介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業 24

○ 都市強靱化プロジェクト

- ・ 地域防災力強化推進事業 25
- ・ 災害用ドローン導入事業 26

暮らしの基盤として未来（あす）をつなぐ「まちづくり」

○ コンパクト+ネットワーク推進プロジェクト

- ・ 前畑停留場のバリアフリー化 27
- ・ 西口住宅建替事業 28

○ まちECO実践プロジェクト

- ・ ごみ減量推進事業、家庭廃棄物収集事業 29
- ・ バイオマス利活用センター運営事業 30

○ ほの国創生プロジェクト

- ・ 東三河広域連合負担金 31

そのほかの主な事業

- ・ 市制施行111周年への継承 32
- ・ 働き方改革の推進、情報化の推進 33
- ・ 地方創生の推進 34

平成29年度
一押しの取組み

○子育てにかかる経済的負担の軽減(拡充)	軽減額	78,194	千円
----------------------	-----	--------	----

市独自で子育て世帯の経済的負担を軽減します (2年連続！)

保育園、認定こども園、幼稚園



子ども医療費助成

【概要説明】

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育園等の保育料軽減や子ども医療費助成を充実します。

1 保育料(保育園、認定こども園、幼稚園)の軽減

- ① 市町村民税所得割非課税世帯の保育料を完全無料化します。
- ② 第3子の保育料無料化の対象を年収概ね740万円の世帯へ拡大します。
- ③ 年収概ね360万円未満のひとり親世帯等について、第1子の保育料の軽減を拡充します。

2 子ども医療費助成の拡充

中学生の入通院医療費(本人負担分)を、平成29年12月受診分から無料化します。⇒ 中学生以下の医療費の完全無料化

担 当 課	1 保育課	2 こども家庭課	電話	1 (0532)51-2317	2 (0532)51-3181
メールアドレス	1 hoiku@city.toyohashi.lg.jp		2 kodomokatei@city.toyohashi.lg.jp		

○妊娠・出産・子育て総合相談(拡充) ○産前・産後サポート(拡充)	事業費 11,386 千円
--------------------------------------	------------------

妊娠・出産・子育てに関する悩みを解消します



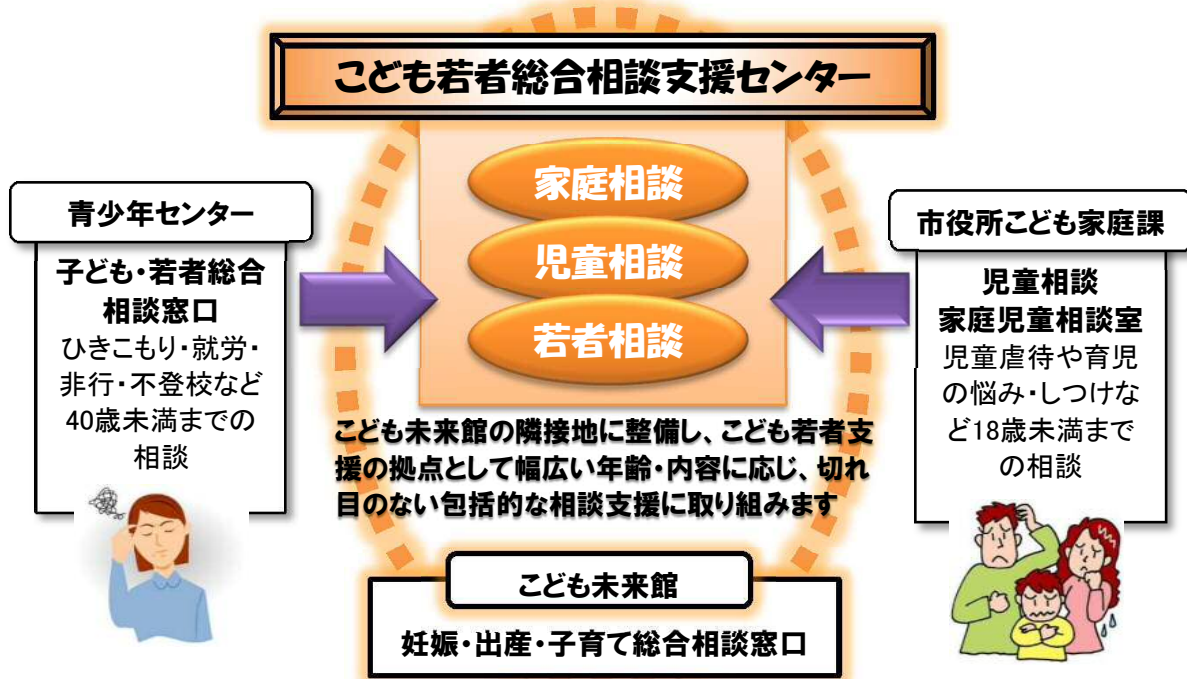
【概要説明】

<p>妊娠・出産・子育ての相談体制を拡充し、</p> <hr/> <p>産前・産後サポート事業を実施します。</p> <hr/> <p>1. 妊娠・出産・子育て総合相談窓口体制の拡充</p> <p>(1) 保健所・保健センター(ほいっぷ) ◎ポルトガル語通訳を配置し、外国人への相談体制を充実します。(週3日)</p> <p>(2) こども未来館(ここにこ) ○母子健康手帳の交付を週3日(金、土、日曜日)実施します。</p> <p>2. 産前・産後サポート事業の実施</p> <p>(1) 保健所・保健センター(ほいっぷ) で行う教室 ○ティーンズマタニティ教室・・・年4回 20歳未満の妊産婦対象 ・赤ちゃんの抱き方やおむつ交換の実技を学びます。 ○プレママカフェ・・・・・・・年6回 35歳以上の妊婦対象 ・妊娠中の栄養、産後の生活等を学びます。</p> <p>(2) 助産師による家庭訪問 ○妊産婦やその家族の要望により、助産師が自宅に出向き、相談等に対応します。</p>

担 当 課	こども保健課 こども未来館	電話	(0532)39-9153 (0532)21-5526
メールアドレス	kodomohoken@city.toyohashi.lg.jp coconico@city.toyohashi.lg.jp		

◎こども若者総合相談支援センターの設置	事業費	23,166	千円
---------------------	-----	--------	----

こどもから若者までの相談窓口を一体的に運営する
こども若者総合相談支援センターを設置します



【概要説明】

- ◆「児童相談」「家庭児童相談」機能と「子ども・若者総合相談」機能を集約し、子どもの養育や若者の自立などに困難を抱える家庭への相談支援拠点を「こども若者総合相談支援センター」として開設します。また、子どもの貧困に関する相談にも対応します。
○開設時期 平成29年10月(予定)
- ◆18歳までを対象とする「児童相談」「家庭児童相談」と40歳未満を対象とする「子ども・若者総合相談」を一体的に運営するとともに、隣接するこども未来館の「妊娠・出産・子育て総合相談窓口」との連携を強化することで、子育てにおける切れ目のない支援の充実を図ります。
- ◆こども未来館を中心として、子育てを支援する相談窓口が集積します。

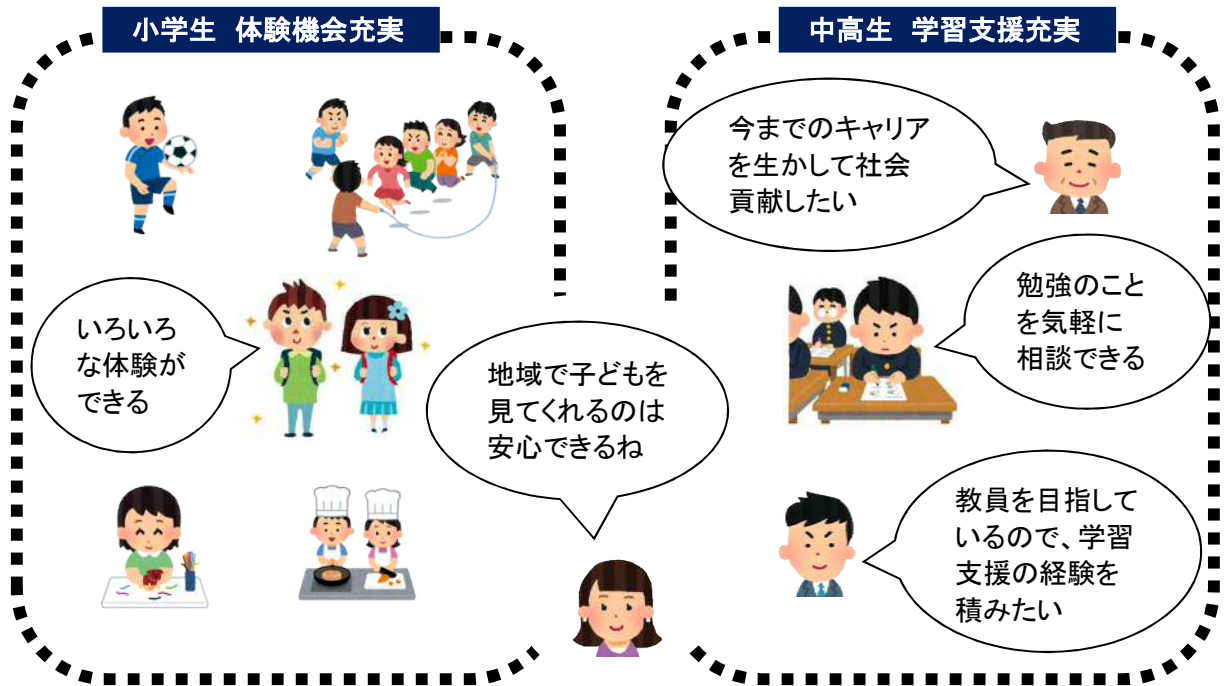
担当課	こども家庭課	電話 (0532)51-3181
メールアドレス	kodomokatei@city.toyohashi.lg.jp	

◎学校外における児童・生徒支援	事業費	5,154	千円
-----------------	-----	-------	----



福祉・子育て・教育が連携した取組み

トヨッキースクール、地域未来塾ステップを開設




【概要説明】

退職教員や教員志望の学生など地域の多彩な人材を生かし、学校外における小学生への体験活動と中高生への学習支援を行います。

① トヨッキースクール

新規

- ☆開催日 平日(週1回程度)の放課後
- ☆場所 市民館、小学校体育館等
- ☆対象 実施校区の小学生
※平成29年度は2校区を予定 
- ☆内容 昔の遊び、スポーツ、料理教室、楽器の演奏会、工作、習字等
- ☆その他 放課後児童クラブ利用の児童も参加できます。

② 地域未来塾ステップ

拡大

- ☆開催日 土・日曜日(開催場所による)
- ☆場所 青少年センター(新規)、アイブラザ豊橋(新規)※、カリオンビル※、豊校区市民館※
- ☆対象 学習支援が必要な中高生
※は生活困窮・ひとり親世帯に限る
- ☆内容 学校の授業の復習、宿題指導、勉強のコツのアドバイス、進路相談、自主学习等

担当課(電話) ①②生涯学習課((0532)51-2846)、①②こども家庭課(51-2319)、②生活福祉課(51-2313)

メールアドレス shogaigakushu@city.toyohashi.lg.jp、kodomokatei@city.toyohashi.lg.jp、seikatsufukushi@city.toyohashi.lg.jp

◎給付型奨学金制度の創設	事業費	3,800	千円
--------------	-----	-------	----

給付型奨学金を創設！

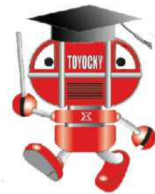
未来に羽ばたく若者の夢を応援します



ええじゃないかの精神で、
若者の夢を応援します！

豊橋市の未来は、ええじゃないか

～市長から子どもたちへのメッセージ～



豊橋市では、一人ひとりの個性や能力に応じた教育を行うことで、笑顔があふれ、誰もが夢を持ち輝くことができるようなまちにしたいと思っています。

そのために、勉強が好き、スポーツが好き、歌やダンスが好き、工作や絵画が好き、生き物が好きなど、それぞれの「好き」を応援していきます。

失敗は、何度しても大丈夫です。いろいろなことに挑戦して、できるようになる、分かるようになる、その喜びや感動の積み重ねが、みなさんを大きく成長させることでしょ。

そして、みなさんが大人になったとき、自分も豊橋市で子どもを育てたいと思えるような魅力あるまちにしていきたいです。

豊橋市では、未来の豊橋市を創るみなさんを応援します。

豊橋市長 佐原 光一

【概要説明】

経済的な理由により進学が困難な状況でありながらも、優れた得意分野を持ち、夢の実現に向けて頑張る学生の進学を後押しするため、大学等の在学中に奨学金を給付します。この奨学金は返済義務がなく、個人の意思を尊重し卒業後の進路も拘束しません。

【制度概要】

- 対象者 市内の高等学校等を卒業し、大学等に進学した学生で、保護者が市内在住であり、次のいずれかに該当する者
 - (1)高等学校課程での主要5教科のうち1教科でも高い学習成績(評価4.3以上)を修めた者
 - (2)教科以外の学校活動で大変優れた成績を修めた者
 - (3)上記(1)、(2)以外でも特に認める者
- 家計基準 市民税非課税世帯
- 選考方法 高校推薦(各1名)
- 給付額 1月あたり25,000円
- 対象人数 12名

・平成29年3月に卒業した学生から給付対象となります。

担当課(電話)	教育政策 課	電話 (0532)51-2819
メールアドレス	kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

○英会話のできる豊橋っ子の育成(拡充)	事業費 132,699 千円
---------------------	-------------------

ALT(外国人英語指導員)を増員して、「英語で学ぶモデル事業」を推進します



【夏休み英語体験活動】

【概要説明】

子どもに英語を自然に体得させるため、ALTを常駐配置し、英語のネイティブスピーカーと日常的に触れ合う機会を増やすとともに、「英会話」の授業以外の教科で英語を使い、「英語を学ぶ」授業から「英語で学ぶ」授業の実践研究を行います。

【「英語で学ぶモデル事業」】

研究実践・小学校において、3年生から6年生までの音楽、図工、体育、総合の時間など「英会話」の授業以外の教科で、担任とALTが協働しながら英語を使った授業を展開します。

○研究実施計画

研究実践校	豊橋市立小学校	1校	ALT 1名	常駐配置
研究実践期間	3年間			
年間授業時数	3年生～6年生			
	「英会話」の授業	140時間		
	音楽、図工その他	560時間		

担当課	学校教育課	電話 (0532)33-2113
メールアドレス	gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp	

◎プログラミング教育の推進	事業費 1,000 千円
---------------	-----------------

プログラミング教育を実践研究します

学習用コンピュータを活用した授業の様子



【概要説明】

コンピュータの働きを理解しながら、意図した処理をコンピュータに指示するなど「論理的思考力」を育むプログラミング教育を実践研究します。

<研究内容>

- ・ 発達段階に即した授業づくり
- ・ 教科指導における教材の効果的な活用方法
- ・ 教員の指導方法(教員のプログラミングに対する理解)など

<研究校>

- ・ 小学校、中学校 各1校

担当課	学校教育課	電話 (0532)33-2113
メールアドレス	gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp	

○高根小学校屋内運動場、校舎棟の整備	事業費 349,645 千円
--------------------	-------------------

高根小学校の屋内運動場、校区市民館が完成、
一部を木造とする校舎の建設にも着手します



整備のイメージ

【概要説明】

高根小学校の校舎等増改築事業として、平成29年9月に屋内運動場、校区市民館の完成を予定しています。また、引き続き着手する校舎は、高根地区の豊かな自然に調和するように一部を木造とし、地域に愛着と親しみを持てるような学校整備を目指します。

■施設概要(予定)

- ・屋内運動場:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建 1,040㎡
- ・校区市民館:屋内運動場と併設 310㎡
2か年継続事業の最終年度
- ・校舎:鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造3階建, 木造2階建 3,108㎡
3か年継続事業の2年度

担当課(電話) 教育政策課((0532)51-2806)、市民協働推進課(51-2482)

メールアドレス kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp(教育政策課)、shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp(市民協働推進課)

○小中学校施設の大規模改修(拡充)	事業費	2,838,470	千円
-------------------	-----	-----------	----

過去最大の事業規模

21の小中学校で老朽化の進む校舎、屋内運動場をリニューアル



※写真はリニューアル後のイメージです

【概要説明】

子どもたちの学習の場であり、地域の拠点でもある学校施設について、国の平成28年度補正による交付金を活用し、学校インフラの老朽化対策を大きく進め、安全の確保とともに教育環境の向上を図ります。

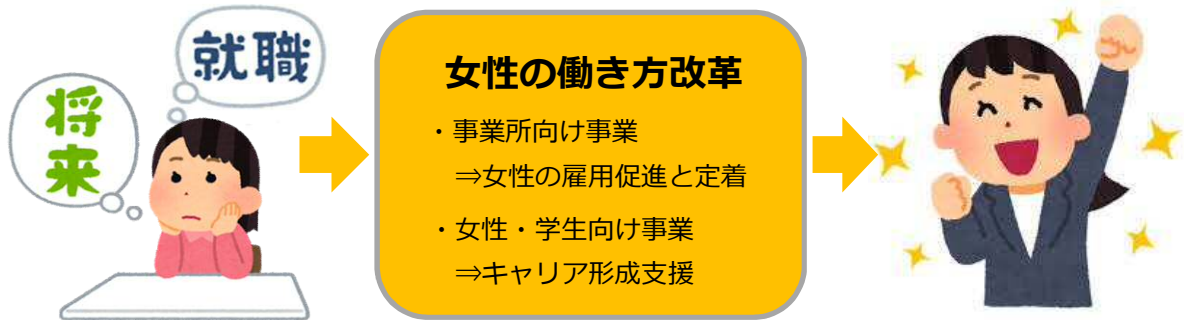
■平成29年度の施工予定(内外全面リニューアル)

予算区分	平成28年度補正予算分		平成29年度当初予算分
対象校	松葉小(北校舎) I期	牟呂小(屋内運動場)	松葉小(北校舎) II期
	大村小(校舎) I期	幸小(屋内運動場)	大村小(校舎) II期
	津田小(校舎) I期	植田小(屋内運動場)	津田小(校舎) II期
	吉田方小(中校舎南) I期	牛川小(屋内運動場)	吉田方小(中校舎南) II期
	大崎小(校舎) I期	多米小(屋内運動場)	大崎小(校舎) II期
	天伯小(校舎) I期	羽田中(南校舎) I期	天伯小(校舎) II期
	芦原小(校舎)	南部中(北校舎) I期	羽田中(南校舎) II期
	岩田小(屋内運動場)	石巻中(南校舎) I期	南部中(北校舎) II期
	豊小(屋内運動場)	五並中(北校舎)	石巻中(南校舎) II期
	東田小(屋内運動場)	北部中(屋内運動場)	
	石巻小(屋内運動場)		
	予算額	3,709,200千円	2,838,470千円
		合計予算額	6,547,670千円

担当課	教育政策課	電話 (0532)51-2806
メールアドレス	kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

○女性の働き方改革の推進(拡充)	事業費	11,965	千円
------------------	-----	--------	----

日本でいちばん女性が輝くまちを目指します



【概要説明】

女性の雇用促進と定着を目指す事業所への支援と、女性や学生のキャリア形成への支援を一体的に行うなど、女性の働き方改革を推進します。

【事業所向け事業】

① 女性雇用環境整備補助金

・女性用更衣室など、女性雇用・定着のために必要な職場環境整備に要する費用を助成

② 女性雇用支援制度活用普及事業

・行政による女性雇用支援制度の活用セミナーや個別相談を実施

③ 女性スキルアップ支援補助金

・女性従業員の国家資格取得に要する費用を助成

【女性・学生向け事業】

④ 女性再就職支援事業

・女性キャリアカウンセラーによる再就職に関する無料相談を実施
・再就職に向けた女性のための連続講座を開催

⑤ 高校生向けキャリアデザイン支援事業、大学生向けライフ・キャリアプランセミナー事業

・高校生向けに、「多様な働き方」をテーマとしたワークショップを開催
・大学生向けに、結婚・出産・育児などを見据えてキャリアを包括的に考えるセミナーを開催

【今後の推進に向けて】

⑥ 男女共同参画行動計画(ハーモニープラン2018~2022)の策定

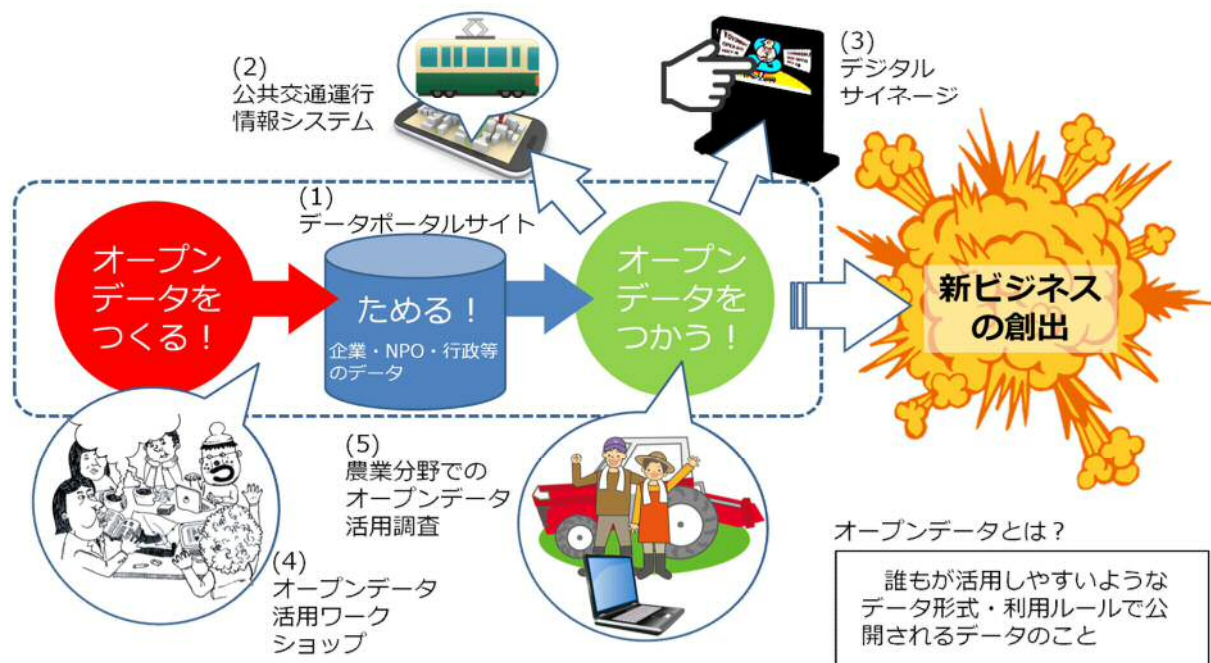
⑦ 女性活躍を応援するための庁内プロジェクトの設置

担当課	①②③商工業振興課、④⑤(高校生)⑥市民協働推進課、 ⑤(大学生)こども未来政策課、⑦地方創生推進室	電話	①②③0532(51)2435、④⑤(高校生)⑥ 0532(51)2188、 ⑤(大学生) 0532(51)2325、⑦0532(51)2180
メールアドレス	①②③shokogyo@city.toyohashi.lg.jp、④⑤(高校生)⑥shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp、 ⑤(大学生)kodomo-seisaku@city.toyohashi.lg.jp、⑦sosei@city.toyohashi.lg.jp		

重点化事項の主な事業

○オープンデータビジネス創出事業(拡充)	事業費	48,930	千円
----------------------	-----	--------	----

オープンデータを活用した新たなビジネス創出を支援します



【概要説明】

オープンデータ活用のプラットフォームを構築し、意欲ある市民・事業者・NPO・学生等の参加・活躍を促進することで、まちの魅力向上や課題解決、新たなビジネスの創出につなげます。

【基盤整備】

(1)データポータルサイト	企業、NPO、行政など多様な主体が提供するオープンデータを蓄積・公開するポータルサイトの運営
---------------	--

【活用促進】

(2)公共交通運行情報システム	オープンデータを活用し、市電やコミュニティバスの位置情報等をスマートフォン等で確認することができるシステムの整備・運営
(3)デジタルサイネージ	オープンデータを活用し観光案内やまちの魅力発信をするためのデジタルサイネージの整備・運営

【活用の波及】

(4)データ活用ワークショップ	多様な主体によるオープンデータ活用のためのワークショップ等を開催
(5)データ活用可能性調査	農業活性化のためのオープンデータの活用可能性調査

担当課	産業政策課	電話 (0532)51-2440
メールアドレス	sangyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp	

◎産地パワーアップ事業補助金	事業費 175,419 千円
----------------	-------------------

出荷作物の販売額10%アップに向けた取組みを支援します



低コスト耐候性ハウスの整備(イメージ)

【概要説明】

農林水産省の「産地パワーアップ事業補助金」を活用して農産物生産の収益力強化に計画的に取り組む担い手を支援し、出荷作物の販売額の増加を図ることにより、産地競争力の強化を推進します。

《産地パワーアップ事業補助金》

○整備事業：149,580千円(5戸)
環境制御装置等を導入した低コスト耐候性ハウスを新たに整備する担い手を支援します。

○生産支援事業：25,839千円(11戸)
養液栽培設備や環境制御装置など生産設備を新たにリース導入する担い手を支援します。

担当課	農業支援課	電話 (0532)51-2476
メールアドレス	nogyoshien@city.toyohashi.lg.jp	

○陸上競技場の整備	事業費	740,000	千円
-----------	-----	---------	----

平成30年3月

陸上競技場が生まれ変わります(アスリートファースト)



整備後のメインスタンドイメージ

整備後の競技場イメージ



【概要説明】

平成28年度に引き続き、陸上競技場の本部スタンドの改築工事を実施するとともにフィールド芝生化・全天候舗装工事などを行い、施設の機能及び利便性の向上を図ります。

○陸上競技場本部スタンド改築工事(平成28・29年度の2か年の継続事業)

施設概要 屋根付メインスタンド 観覧席1,500席

○陸上競技場フィールド等改修工事

工事概要 フィールドの芝生化及び全天候舗装
クロスカントリーコースの整備

○供用開始予定

平成30年3月末

担 当 課	スポーツ課	電話 (0532)51-2865
メールアドレス	sports@city.toyohashi.lg.jp	

○豊橋文化振興財団補助金(拡充)	事業費	175,600	千円
------------------	-----	---------	----

全国から注目度の高い

「穂の国とよはし芸術劇場」が開館5年を迎えます



穂の国とよはし芸術劇場
プロデュース「新作公演」
平田 満



「ハムレット」
内野聖陽、國村隼
貫地谷しほり、浅野ゆう子
北村有起哉、加藤和樹



ミュージカル
「ナイン・テイルズ-九尾狐の物語」
宮川彬良

【概要説明】

穂の国とよはし芸術劇場開館5年記念特別事業として、豊橋から平田満出演の新作公演を創造発信するほか、市民のみなさんに様々な公演をお届けします。

【開館5年記念特別事業】

- 穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「新作公演」
作・演出: 桑原裕子、出演: 平田満、井上加奈子、小林勝也、増子倭文江 ほか
- ミュージカル「ナイン・テイルズ-九尾狐の物語」
作曲・編曲: 宮川彬良、演出: 田尾下哲、出演: 昆夏美、JKim、小野田龍之介 ほか

【その他注目の公演】

- 「ハムレット」
出演: 内野聖陽、貫地谷しほり、北村有起哉、加藤和樹、浅野ゆう子、國村 隼 ほか
- 新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場「しらゆき姫」

【小中学校を対象とした鑑賞事業(教育委員会との連携事業)】

- 劇団四季 こころの劇場ほか1事業 対象: 小学生
- 名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートほか1事業 対象: 中学生

担 当 課	文化 課	電話 (0532)51-2873
メールアドレス	bunka@city.toyohashi.lg.jp	

◎中学校部活動の充実	事業費 974 千円
------------	---------------

専門的な技術指導を！

中学校の部活動に外部指導者を派遣します

運動的部活動の様子



文化的部活動の様子



【概要説明】

- ・中学校部活動の外部指導者を学校へ派遣し、専門的技術指導を行うことで、部活動の一層の充実を図ります。
- ・外部指導者と連携して指導をすることで、担当教員の指導力向上を目指します。

＜対象＞

- ・ 運動的部活動、文化的部活動で、それぞれ2つの部に派遣します。

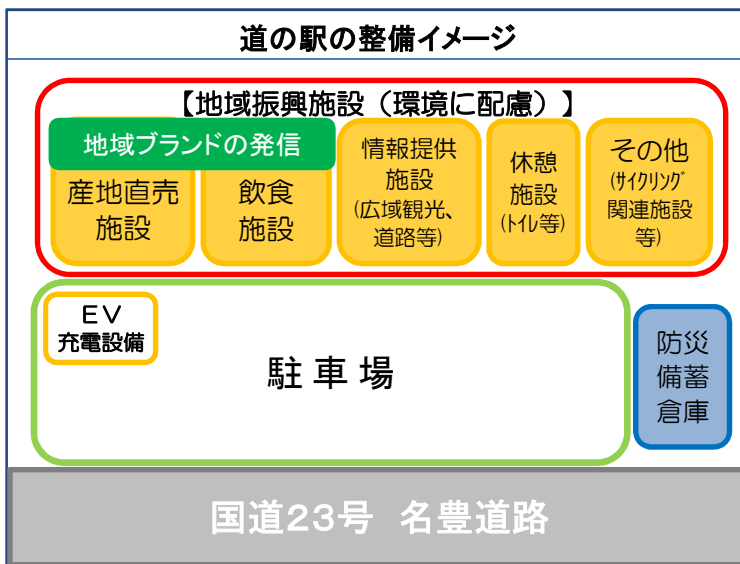
＜派遣の基準＞

- ・ 部活動新設等の理由で、専門的技術指導者が必要な部活動
- ・ 種目等の特性に対応するために、より多くの指導者が必要な部活動
- ・ 地域と連携した運営をすすめたい部活動
- ・ 教員数の減少により運営が難しい部活動

担 当 課	学校教育 課	電話 (0532)51-2826
メールアドレス	gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp	

○名豊道路道の駅整備事業	事業費 207,640 千円
--------------	-------------------

名豊道路七根IC周辺に「道の駅」の整備を進めます



道の駅の特徴

◎産業振興
大学と農家、地元企業等が連携し、「道の駅限定のご当地メニューや土産品等の商品開発(6次産業化)」を実施

◎地域福祉
高齢者の交流拠点を「道の駅」に整備し、「道の駅」と福祉関連施設をコミュニティバス等で結び

◎防災拠点
南海トラフ地震等に備えるため、「道の駅」を『豊橋市地域防災計画』に位置づけ

【概要説明】

平成27年度に国土交通省から、東三河で最初の重点「道の駅」に選定された「(仮称)とよはし」を、名豊道路七根IC周辺に整備していきます。

市内初となる「道の駅」は、新鮮で質の高い農産物等を、『見て』・『買って』・『味わい』・『楽しむ』ことをコンセプトに、地域ブランドや広域観光情報を国内外へ発信する産業振興の拠点とし、併せて地域福祉や防災活動の拠点としても位置付けていきます。

29年度は、「道の駅」地域振興施設の設計や防災施設用地の造成等を行います。



担当課	道路建設課	電話 (0532)51-2520
メールアドレス	dorokensetsu@city.toyohashi.lg.jp	

○のんほいパーク魅力創造事業(拡充)	事業費 40,105 千円
--------------------	------------------

**若い世代にも人気上昇中 のんほいパークの魅力がさらにアップ
ナイトZOOの開催 & 遊園地エリア夜間開園の拡充**



ナイトZOO



のんほいサーキット(遊園地エリア)

【概要説明】

プロジェクションマッピングの新たなプログラムを作成し夏季のナイトZOOの充実を図るとともに、遊園地エリアの夜間開園日を拡充し、若者や外国人旅行客など新たな客層の誘客を推進します。

＜ナイトZOOの開催＞

- プロジェクションマッピングの新たなプログラム作成
- 開催日数(8月:9日間 9月:7日間 予定)

＜夜間開園の拡充＞

- ◎遊園地エリアの週末夜間開園(年間20日予定)
- ◎のんほいサーキットの平日夜間営業

担当課	動植物公園	電話 (0532)41-2186
メールアドレス	doshokubutsu@city.toyohashi.lg.jp	

○保育所・認定こども園の整備(拡充)	事業費	786,015	千円
--------------------	-----	---------	----

公立の認定こども園を開園(こじかこども園) 法人保育所・認定こども園の施設整備助成(4園)



こじかこども園新園舎(イメージ)

【概要説明】

1 豊橋市立こじかこども園の開園

幼保連携型認定こども園として教育・保育を一体的に実施するほか、地域子育て支援センター事業、病児保育事業を推進し、子育て支援の充実を図ります。

・地域子育て支援センター事業…子育て家庭の相互交流、子育ての相談や情報提供、講習会等の実施

・病児保育事業…病氣中・回復期の児童の一時的な保育や地域の保育所等への巡回支援の実施

2 法人保育所・認定こども園の整備

良好な教育・保育環境を確保するため、老朽化した園舎の大規模改修に要する経費及び認定こども園へ移行する幼稚園の改築に要する経費の一部を助成します。

・大規模改修…2園 ・園舎改築…2園

担当課	保育課	電話 (0532)51-2315
メールアドレス	hoiku@city.toyohashi.lg.jp	

○放課後児童対策事業(拡充)	事業費 610,977 千円
----------------	-------------------

子どもの安全・安心な居場所としての 放課後児童クラブを充実します



【概要説明】

1 2か所の児童クラブを新たに開設します

- ・新規開設 【民営】 おおさきこどもクラブ・多米ファイト学園第3児童クラブ
※平成29年度の児童クラブ数
- ・公営児童クラブ 49(大崎校区の民営児童クラブ開設に伴い△1)
- ・民営児童クラブ 35(上記の2クラブ開設に伴い +2)

2 民営児童クラブの支援員等の処遇改善を行います

- ・子どもたちの安全・安心を確保するため、民営児童クラブで働く支援員等の処遇改善に充てる新たな補助制度を設けて人材の確保を支援します。

3 一体・連携型の児童クラブ及び子ども教室を実施します

- ・教育部の新規事業「トヨキースクール」と連携し、児童クラブを利用する子どもも参加できる、一体・連携型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室として新たに2校区で実施します。

担 当 課	こども家庭 課	電話 (0532)51-3160
メールアドレス	kodomokatei@city.toyohashi.lg.jp	

○精神障害者医療費助成事業(拡充)	事業費 319,700 (うち拡大医療助成分7,000) 千円
-------------------	------------------------------------

精神障害者への医療費助成を拡大します



【概要説明】

精神障害者の入院医療費に係る保険診療自己負担分の助成について、精神科のみ対象としていたものを、新たに全診療科目へ拡大し、経済的負担を軽減します。(外来分はすでに全診療科目を助成しています。)

《助成対象者》

- ・精神障害者保健福祉手帳1級又は2級所持者

《対象人数(予定)》

- ・約1,200人

《助成開始時期(予定)》

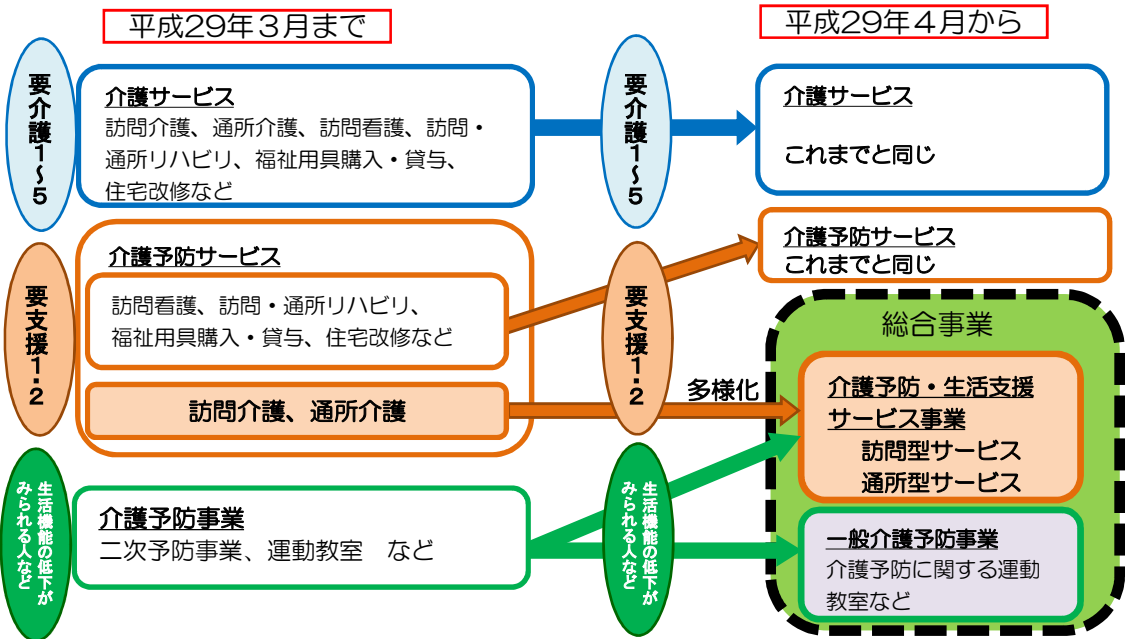
- ・平成29年12月1日診療分から

担当課	障害福祉課	電話 (0532)51-2312
メールアドレス	shogaifukushi@city.toyohashi.lg.jp	

◎介護予防・生活支援サービス事業 ◎一般介護予防事業	事業費 592,006 千円
-------------------------------	-------------------

高齢者の住み慣れた地域での生活を守るため、 介護予防の強化・自立支援の推進に取り組みます

これまでの介護保険制度との変更点



【概要説明】

「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」をスタートし、個々の状況に応じたサービス提供や事業を実施していきます。

【介護予防・生活支援サービス事業】

訪問型サービス	介護予防訪問サービス(現行相当のサービス)	指定事業所による身体介護や掃除・洗濯等の生活援助
	広域型訪問サービス	指定事業所による掃除・洗濯等の生活援助
	地域型訪問サービス	住民主体の団体等による掃除・洗濯等の生活援助
通所型サービス	介護予防通所サービス(現行相当のサービス)	指定事業所による機能回復のための機能訓練や入浴、食事の介護等
	広域型通所サービス	指定事業所による健康維持のための機能訓練やレクリエーション
	地域型通所サービス	住民主体の団体等による健康維持のための機能訓練やレクリエーション

【一般介護予防事業】

一般介護予防事業	介護予防教室など介護予防に関わる事業
----------	--------------------

担当課	長寿介護課	電話 (0532)51-2331
メールアドレス	choju@city.toyohashi.lg.jp	

○地域防災力強化推進事業(拡充)	事業費 7,880 千円
------------------	-----------------

巨大地震に備え、地域の防災力を強化します



防災まちづくりモデル校区事業:タウンウォッチング

防災コミュニティマップ作成の手引き配布



校区・町防災訓練

【概要説明】

「自助」「共助」の取り組みを促すため、自主防災会などに対する支援を行い、地域防災力の強化を推進していきます。

< 事業概要 >

① 防災まちづくりモデル校区事業

・学校や地域が「タウンウォッチング」や「校区防災訓練」の企画などを協働して実践することで連携・継続した人づくりやまちづくりを推進します。

② 防災コミュニティマップ作成の手引き

・自らの家やまちを知り、災害被害を具体的にイメージしながら、防災コミュニティマップを作成できるよう自主防災会や学校に手引きを配布します。

③ 家具固定推進員の養成

・家具固定の正しい知識や技術を習得し、各地域で指導や啓発を行いつつ、実践することができる人材を養成します。

④ 自主防災力強化事業補助金

・校区が主体となっていく実践的な防災訓練等に必要経費の一部を補助します。

< 自主防災力強化事業補助金 >

- ・自治会加入世帯1,200以下 3万円
- ・自治会加入世帯1,201以上2,500以下 5万円
- ・自治会加入世帯2,501以上 7万円

担当課 防災危機管理課

電話 (0532)51-3127

メールアドレス

bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp

◎災害用ドローン導入事業	事業費	5,269	千円
--------------	-----	-------	----

ドローン飛行隊を結成します



【概要説明】

災害時に人が簡単に近づくことができない災害現場を上空から調査し、迅速かつ安全に状況把握を行うため、ドローンを導入します。

株式会社サイエンスクリエイトと災害時の活用について共同研究を進めます。

<事業概要>

- ① ドローン操作員の養成を行い、ドローン飛行隊を結成します。
 - ・様々な運用場面を想定し、的確にドローンを飛行させるため、本市職員によりチームを編成するとともに操作研修及び訓練を実施します。
- ② 迅速な状況把握を行い、災害対策本部における初動対応の強化を図ります。
 - ・災害時には、ドローン飛行隊を速やかに現場に派遣し、高度な情報収集機能を活用して状況を把握するとともに、的確な災害応急活動を実施します。
- ③ 東三河各市町村との共同講習会など連携の取組みを進めます。
 - ・ドローンの能力を把握・確認しつつ、東三河全体への普及も図っていくため、講習会などを開催します。

担当課 防災危機管理課 電話 (0532)51-2068

メールアドレス bousaikikikanri@city.toyohashi.lg.jp

◎前畑停留場のバリアフリー化	事業費 15,739 千円
----------------	------------------

市電の前畑停留場をバリアフリー化します



バリアフリー化のイメージ

【概要説明】

高齢者や車いす使用者、視覚障害者など、誰もが路面電車を安全・安心に利用できるように、前畑停留場において、乗降場の幅を広げるとともに、スロープ、視覚障害者誘導用ブロック等を設置するバリアフリー化を行います。

【バリアフリー化の主な内容】

- 乗降場の改修（有効幅員1.5m）
- スロープ、フェンス、手すりの設置
- 視覚障害者誘導用ブロックの設置

【前畑停留場の最寄りの施設など】

- 総合福祉センター「あイトピア」
- 障害者福祉会館「さくらピア」
- 三・八の市

担当課	都市交通課	電話 (0532)51-2620
メールアドレス	toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp	

○西口住宅建替事業	事業費	788,008	千円
-----------	-----	---------	----

西口住宅建設工事(第1期)に着手します

現在の西口改良住宅・西口住宅



【概要説明】

老朽化した西口母子・西口改良・西口住宅を集約し、バリアフリーで防災性に優れた住宅に建て替えます。ひとり暮らしのお年寄りから子育て世帯まで、誰もが安心して暮らせる住宅環境を整備します。

○建替の概要

高層耐火構造 9階建 3棟363戸
単身高齢者用1DK、子育て世帯用3DKなど多様なニーズに対応した部屋タイプ

○建替スケジュール

平成28～30年度	解体・建設工事(第1期)
平成31～33年度	解体・建設工事(第2期)
平成34～36年度	解体・建設工事(第3期)
平成37年度	解体工事(第4期)

○平成29年度予算のおもな内容
建設工事(第1期)

担 当 課	住宅 課	電話 (0532)51-2602
メールアドレス	zyutaku@city.toyohashi.lg.jp	

○ごみ減量推進事業(拡充) ○家庭廃棄物収集事業(拡充)	事業費 485,839 千円
---------------------------------	-------------------

4月から新しいごみの分別、収集がスタートします



生ごみを週2回収集します。







びん・カンは週1回ごみステーションで収集します。

引き続き
出前講座等PRを行います！



【概要説明】

平成29年4月から生ごみ分別収集、びん・カンのステーション収集を開始します。

収集日・収集回数の変更を行い、より効率的にごみ収集を行います。

また、持ち出しの注意事項など、引続き適正な分別への周知も行っていきます。

- | | |
|---------|---|
| 収集方法の変更 | ◆びん・カンの収集をビンカンボックスからステーション収集へ変更 |
| 収集体制の変更 | ◆収集に必要な車両等資機材の配置 |
| 分別の周知 | ◆生ごみ分別収集開始後の状況とともに、分別ルールの定着に向け、チラシ、ポスター、ごみ分別促進アプリ、出前講座等での周知 |

担当課	環境政策課 業務課	電話 (0532)51-2417 (0532)61-4136
メールアドレス	kankyoseisaku@city.toyohashi.lg.jp kankyogyomu@city.toyohashi.lg.jp	

◎バイオマス利活用センター運営事業	事業費 2,871,973 千円
-------------------	---------------------

中島処理場でバイオマスのエネルギー化を開始します



施設完成イメージ

※イメージ図であり、実際の施設とは異なる場合があります。

【概要説明】

平成29年10月から、処理場内のバイオマス利活用センターで、バイオマス受入とエネルギー化を開始します。

《平成29年度の実施内容》

- 施設の建設 9月まで
- 維持管理・運営 10月から

★注目ポイント

- ① PFI方式により、**民間の資金、経営能力、技術を活用!**
- ② 資源化センターの処理の一部を中島処理場へ集約することで、**処理コストを削減!**
- ③ 下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみから、**バイオマスエネルギーを創出!**
- ④ ガス発電と炭化燃料化の組合せにより、**バイオマス資源を100%エネルギー化!**
- ⑤ バイオマス資源の多様な利活用により、**温室効果ガスの排出量を削減!**

担当課	(上下水)総務課	電話	(0532)51-2705
メールアドレス	water-somu@city.toyohashi.lg.jp		

○東三河広域連合負担金(拡充)	事業費 433,356 千円
-----------------	-------------------

東三河広域連合の取組みを推進します



浅草「まるごとにっぽん」の様子

【概要説明】

東三河広域連合の取組みとして、消費生活相談など6つの共同処理事務を推進し、とりわけ介護保険については、「第7期介護保険事業計画」の策定など平成30年度からの保険者統合に向けた準備を本格化させます。また、東三河ブランドショップの計画調査や東京駅でのPRなど、東三河の魅力向上・情報発信に取り組みます。

■主な内容

《介護保険》

・介護保険システムの構築に取り組むとともに第7期介護保険事業計画の策定を進めます。

《障害支援区分》

・公平・公正かつ効率的な障害支援区分認定審査会の運営を行います。

《消費生活相談》

・豊橋市に設置する東三河消費生活総合センターをはじめ、東三河のすべての消費生活相談窓口において専門相談員による相談を引き続き実施するとともに、相談員の育成やスキルアップを進めます。

《広域連携事業》

・東三河ブランドショップの設置候補地や運営方法など具体的な事業計画に必要な調査を行うほか、東京駅や名古屋駅でのデジタルサイネージによる観光PRポスター画像の掲出を行います。

担当課	政策企画課	電話 (0532)51-3151
メールアドレス	seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp	

○市制施行111周年への継承	事業費 132,472 千円
----------------	-------------------

市制施行110周年記念事業の成果を継承します



【概要説明】

市制施行110周年の主なイベント

市制施行110周年記念事業を通じて生まれた「人と人のつながり」や「新たに生み出された豊橋の魅力」を継承・発展させ、いきいきと輝くまちづくりへとつなげていく事業を実施します。

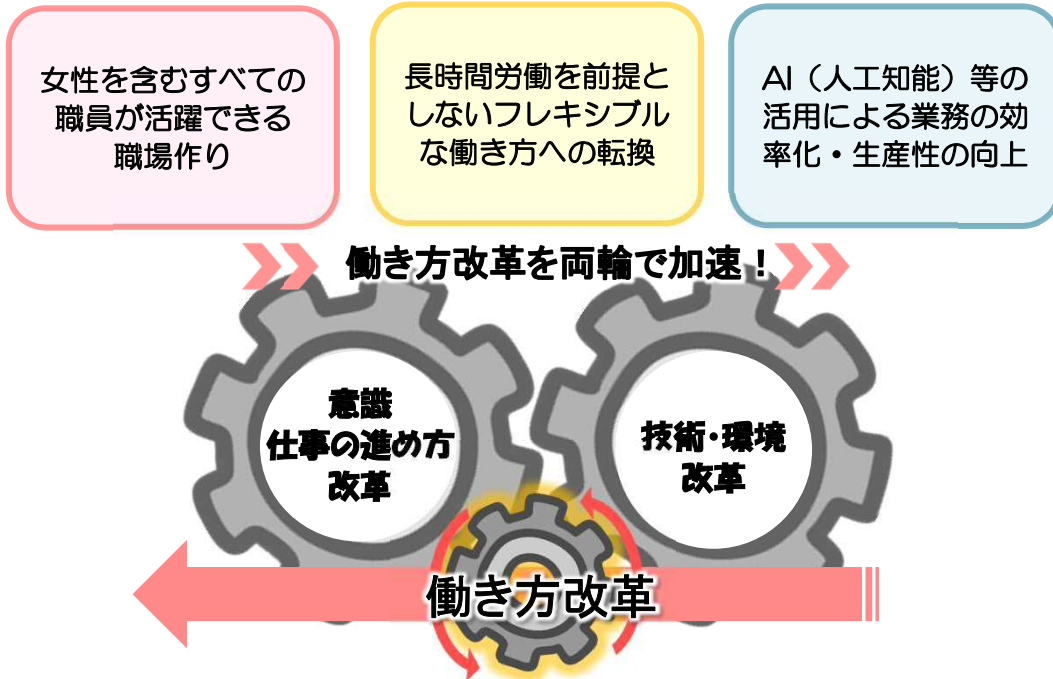
●主な事業

イベント名等	概要
市歌の普及促進	市歌の普及に向け市歌CDを作成
まちなか花いっぱい運動	市民と協働でペDESTリアンデッキの花壇に季節の花を植え、花のまち豊橋をPR
胡蝶蘭アベニューの創出	豊橋産胡蝶蘭で豊橋駅東西自由連絡通路を装飾し、日本一の産地をPR
みんなであつなごう！ のんほいFUN NIGHT RUN	みんなで楽しく参加できるリレーマラソンを、夜の「のんほいパーク」で開催
ナイトZOO	ライトアップされた夜の「のんほいパーク」を楽しむイベントを開催
まちづくり交流会	市民同士の交流をさらに深めるため、市民提案イベントを実施した関係者による交流会を開催

担当課	行政課	電話 (0532)51-2027
メールアドレス	gyosei@city.toyohashi.lg.jp	

◎働き方改革の推進 ◎情報化の推進	事業費 7,100 千円
----------------------	---------------------

豊橋市役所の働き方改革を推進します！



【概要説明】

○すべての職員が最大限の力を発揮し、生産性の高い働き方をすることで、市民サービスの向上へとつなげます。

○現状の働き方改革をさらに加速させるため、専門家のコンサルティングを実施し、課題解決のための個別・具体的な手法を身につけます。

○AI(人工知能)等の進展を見据えた新しい働き方を指すため、AI等の導入可能性調査を実施します。

担当課	人事課 情報企画課	電話 (0532)51-2044 (0532)51-2080
メールアドレス	jinji@city.toyohashi.lg.jp joho@city.toyohashi.lg.jp	

○本市の地方創生を推進します	事業費	-	千円
----------------	-----	---	----

「豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策を積極的に展開します

■「豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の5つの個別戦略

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 活力あるしごとづくり戦略 | 4. 快適でくらしやすいまちづくり戦略 |
| 2. ひとの流れづくり戦略 | 5. 広域連携による地域づくり戦略 |
| 3. 安心子育て環境づくり戦略 | |

【具体的な事業例】

—新産業の創出支援—	
<p>農工商の業種を超えた事業者の交流や共同研究、販路開拓などにおける新たな取組みを支援します。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>-----主な取組み-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎豊橋イノベーションガーデン整備事業補助金 ◎次世代「農力」UPアカデミー事業補助金 ◎先端農業技術普及支援事業補助金 ◎オープンデータビジネス創出事業 など </div> </div>
—若者定住都市の推進—	
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>高校生や大学生に対し、地元の優良企業などの地域情報の提供やまちづくりへの参画などを通し、豊橋への誇りと愛着の醸成を図ります。</p> </div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 10px;"></div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>-----主な取組み-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎学生魅力デジタルマップの作成 ◎豊橋3大学まちづくりカフェの開催 ◎大学連携創生事業費補助金 ◎給付型奨学金制度の創設 など </div> </div>
—結婚、出産、子育ての包括的支援体制の構築—	
<p>結婚から、出産、子育てに至るまで、関係機関が連携し切れ目なく支援を行う体制を構築します。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>-----主な取組み-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎妊娠・出産・子育て総合相談窓口の充実 ◎こども若者総合相談支援センターの開設 ◎結婚支援事業の実施 ◎産前・産後サポート事業 など </div> </div>

担 当 課 地方創生推進室

電話 (0532)51-2180

メールアドレス sosei@city.toyohashi.lg.jp



ええじゃないか豊橋